

特定非営利活動法人PHI J P札幌講演会のご案内

連続断熱層のある

北米パッシブ建築の最新動向と 熱回収型換気とパッシブ換気の比較

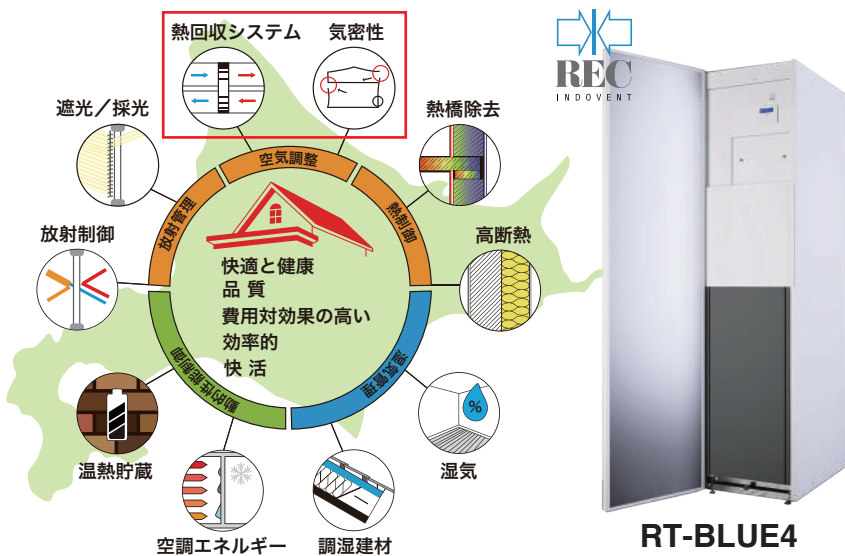


特定非営利活動法人 PHIJP は、環境やエネルギーに優しく経済性を備えたパッシブハウスを、日本各地の気候風土や建築様式を考慮し、地域工務店でも設計・施工可能な支援制度を提供するための組織として設立され、2017年5月24日に東京都に認可されました。また、8月23日にはPHIUS(米国パッシブハウス研究所) から理事で共同設立者のキャトリン・クリンゲンバーク事務局長とマイク・カネエイグス教育部長の御両名をお招きして、PHIUSと交流協定を締結し、初来日となる御二人に基調講演を戴きました。

このたび、当法人の活動の主旨や計画を広報し、より多くの皆様にご入会を戴くために、以下のように札幌講演会を開催します。PHIJP 発足記念講演会の概要を始め、9月末にシアトルで開催される北米パッシブハウス会議での話題や見学会の速報だけでなく、今回はスウェーデンから熱回収型第1種換気装置(HRV)の専門家もお迎えして、盛り沢山な内容となっています。

高断熱住宅ではストーブの排気を活用したパッシブ換気が未だ一定のシェアを占めている北海道において、欧米でのパッシブ建築(高断熱・高气密建築)計画で必須アイテムと成りつつある HRV について、その特徴や利点と建築計画に組み込むときの注意事項等を、REC Indovent AB 社から来日中の2人の専門家に分かりやすく解説(専門通訳者による逐語通訳付)戴きます。この貴重な機会をお見逃し無く、奮ってご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

寒冷地では建物全体のエネルギーバランスが必要です!



開催
10/13 金

14:00 - 18:00
(13:30 受付開始)

会場 北海道立道民活動センター
かでの2-7研修室 730



【交通アクセス】
JR 札幌駅：徒歩 12分
地下鉄 さっぽろ駅(10番出口)：徒歩 7分
大通駅(2番出口)：徒歩 9分
西11丁目駅(4番出口)：徒歩 10分

- 主催** 特定非営利活動法人PHIJP (日本パッシブハウス研究所)
- 後援** 新建築家技術者集団北海道支部
- 定員** 60名/事前申込必要
- 参加費** 参加無料(ただし資料代1,000円)
- お申込み** 裏面のお申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申込ください。

 特定非営利活動法人 **PHIJP**
事務局 〒104-0032 東京都中央区八丁堀381
TEL: 03-6280-3121 E-mail: info@phi-jp.org

お申込みなどの詳細は裏面をご覧ください

プログラム

連続断熱層のある北米パッシブ建築の最新動向と熱回収型換気装置(HRV)の性能と経済性

13:30 ~ 受付開始

14:00 ~ 開会挨拶

当法人理事長・佐貫一級建築設計事務所
佐貫 隆史

14:05 ~ 紹介

「NPO法人PHIJPと湿気コントロールを考慮した
北米型パッシブハウス基準の重要性」

当法人理事・ハイシマ工業(株)
齧島 一弘

14:50 ~ 講演

「北米パッシブハウス会議見学会(シアトル)と
連続断熱工法の最新事情」

当法人理事・京都工芸繊維大学
芝池 英樹

15:10~ 質疑応答

15:20~ 休憩

15:30 ~ 講演

「北欧パッシブハウスの最新動向と熱回収型換気装置の役割」
—新製品RT-BLUE4のご紹介とパッシブ換気との経済性比較—

REC Indovent AB社
Kenneth Carlssonさん
Claes Jäderholmさん

17:00 ~ 休憩

17:10~ 質疑応答

17:25~ 紹介 協賛企業と製品

17:55~ まとめ

お申込書

FAX : 011-726-8990

必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailでお送りください。

会社名		TEL	() -
ご住所	〒	FAX	() -
		連絡用 E-mail	

	お名前	部署/役職
参加者①		
参加者②		
参加者③		

●ご質問などがありましたらご記入ください。

--